タカラ システムバス高断熱窓
施工説明書

施工される方へのお願い

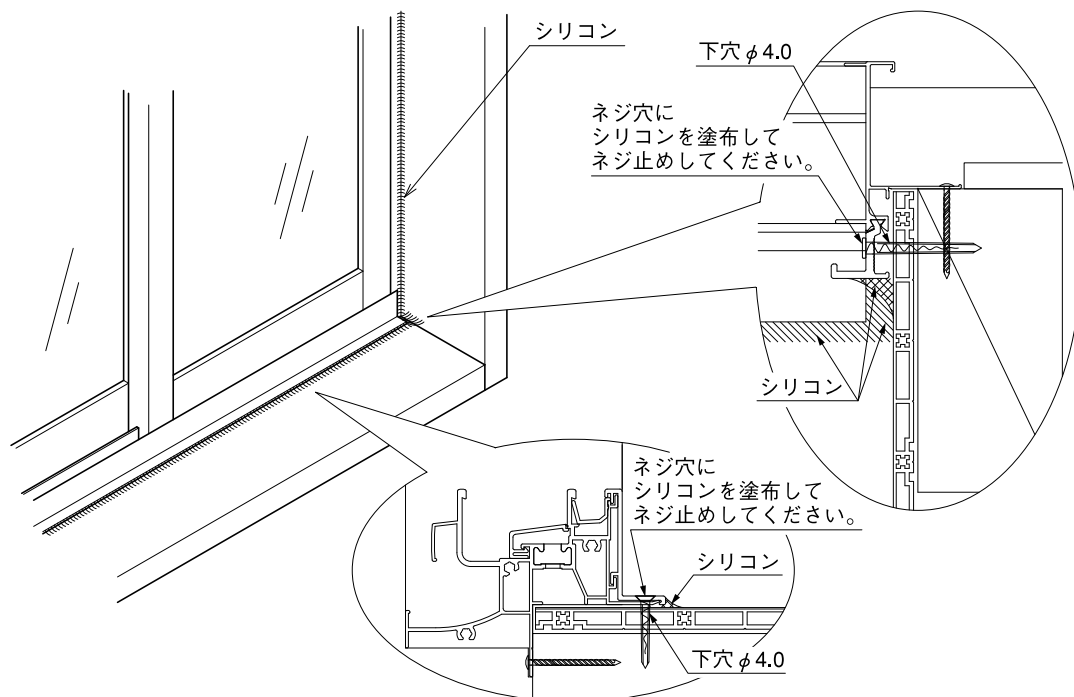
- この「施工説明書」と「システムバス本体の施工説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 樹脂の表面は傷つきやすいので取り扱いに充分注意してください。
- ソリ防止のため、樹脂表面を直射日光に当てた状態にしないでください。
- 施工後、この「施工説明書」と「取扱説明書」をお客様にお渡しください。

同梱取り付けネジ

品　　名	使用箇所	数量
平スクリュー釘　φ2.2×32	枠取付け用	14
平木ネジ　φ3.5×40	上枠・縦枠取付け用	13
さらタッピン1種　φ3.5×25	下枠アングル部取付け用	5

施工手順

注意：●出荷時は、障子のはずれ止めがセットされています。
●障子をはずすときは、はずれ止めをゆるめた上ではずしてください。また、障子を建て込んだ後は必ず、はずれ止めを上げてください。作業方法は取扱説明書を参照してください。
●窓サッシ固定時は障子をはずした状態で、枠ヒレ部分を室外側から平スクリュー釘で固定した後、室内側よりネジで固定してください。
ネジ固定時は締めすぎに注意してください。ネジを締めすぎると樹脂が変形することがあります。

①システムバス本体の施工説明書に従って窓枠・窓サッシを取り付けてください。
・窓枠に下穴をあけ、ネジ穴にシリコンを塗布した上で窓サッシをネジ止めしてください。
下穴径　上枠・下枠・縦枠部：φ4.0mm
・窓枠と窓サッシの接合部は、下図の部分にシリコンを塗布してください。

②同梱の「取扱説明書」を参照して、障子のはずれ止めをセットしてください。また、ガタつき等がある場合は、戸車・クレセント・クレセント受けを調整してください。

注意：スチールタワシなどの硬いものは使用しないでください。シンナー・ベンジン・アセトン等有機溶剤の使用は絶対に避けてください。表面が侵されるおそれがあります。

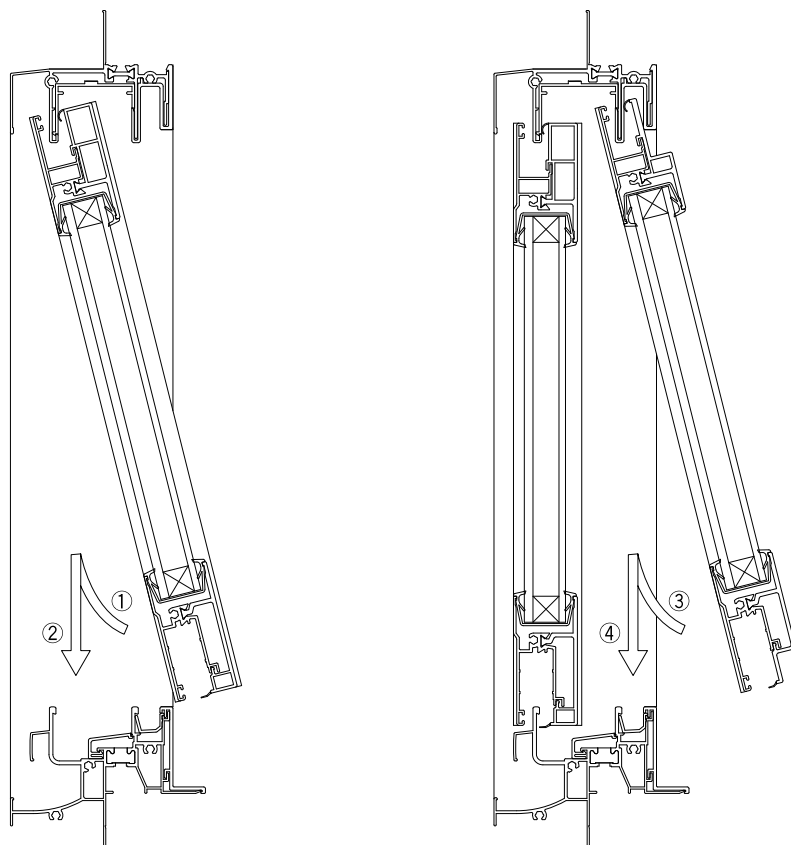
PG1502

タカラ システムバス高断熱窓

取扱説明書

　このたびは、タカラシステムバスをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
　また、お読みになった後は、システムバス本体の取扱説明書と共にいつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

障子の建て込み

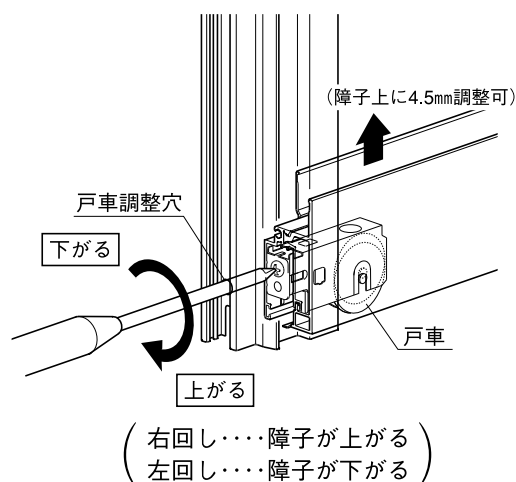
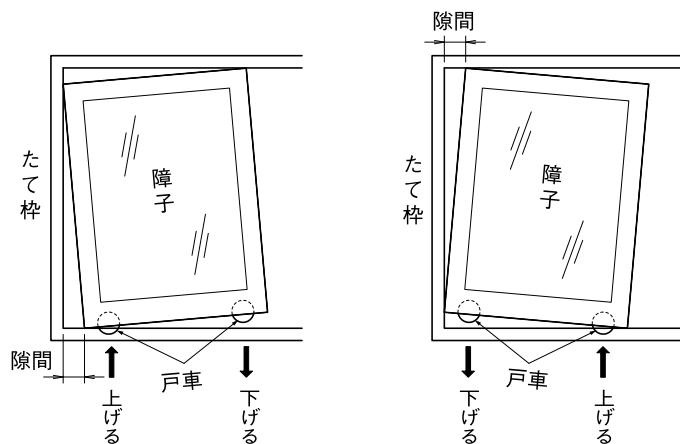
障子は内外どちら側からでも建て込むことができます。
建て込む側からみて奥の障子を先に、建て込んでください。

調整・はずれ止めのセット

障子を建て込んだ後、建て付け良否・開閉調子・クレセントの締まり具合を点検しながら、戸車の調整、止水ピースの調整、クレセント・クレセント受けの調整、はずれ止めのセットを行なってください。
（調整方法は、次ページ以降を参照してください。）

はずす時

障子をはずすときは、この逆の順序で行なってください。

戸車の調整

●障子が枠にキッチリ納まらず、隙間やガタツキがある場合は、戸車を上下に調整し、
障子の傾きを直してください。

止水ピースの調整

(召合せ框下部の部品です)

●戸車調整を行った場合は、必ず召合せ框下部の止水ピースを調整してください。

①戸車調整後、止水ピースの調整ネジをゆるめ、止水ピースと下枠召合せブロックとの間に、隙間ができないように止水ピースを下げてください。

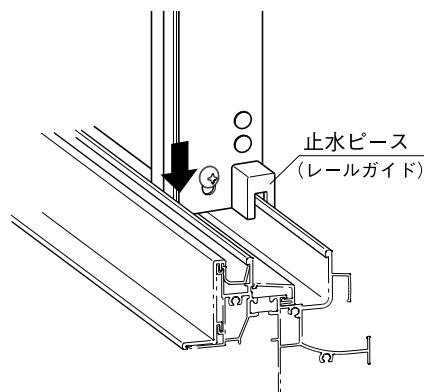
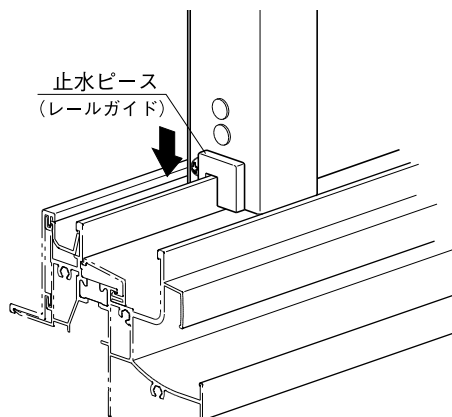
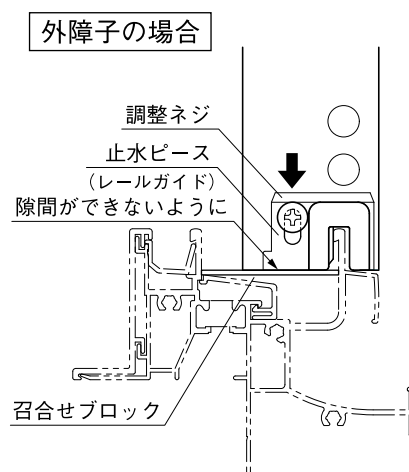
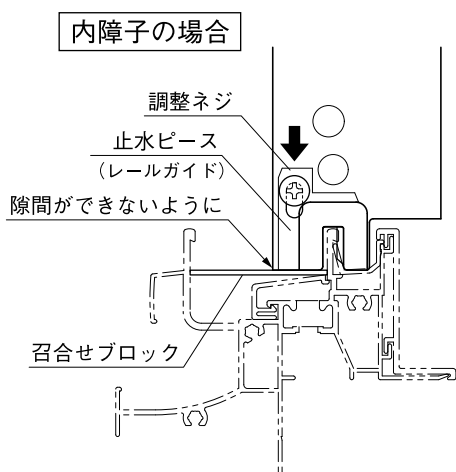
②止水ピースを調整後、再び調整ネジを締めて固定してください。

内障子の場合

調整ネジ
止水ピース
(レールガイド)
隙間ができないように
召合せブロック

外障子の場合

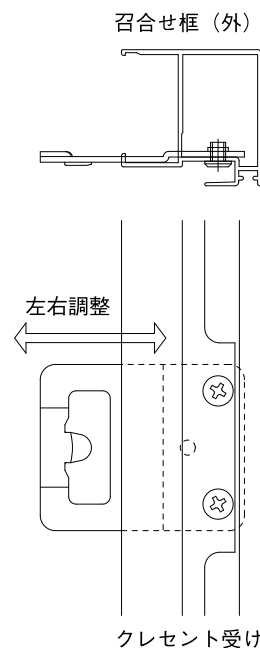
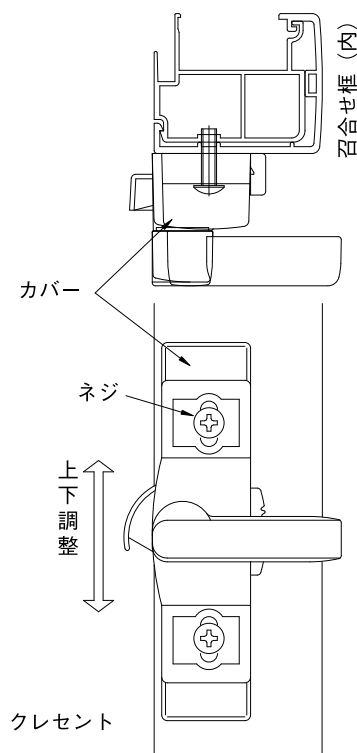
調整ネジ
止水ピース
(レールガイド)
隙間ができないように
召合せブロック

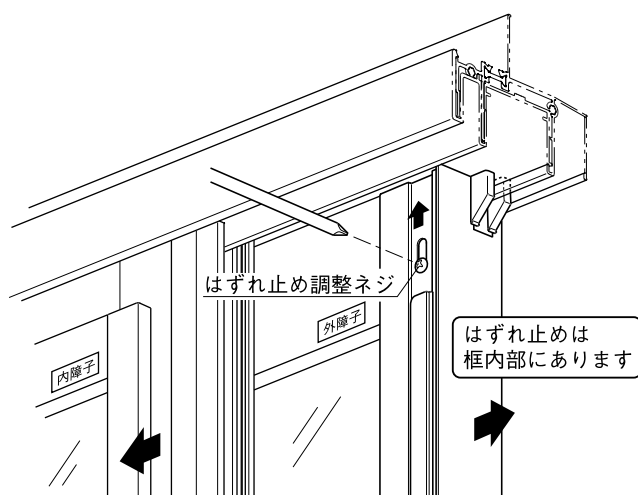
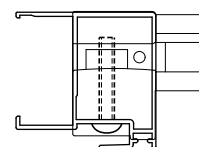
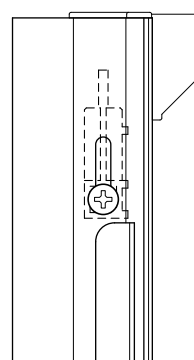
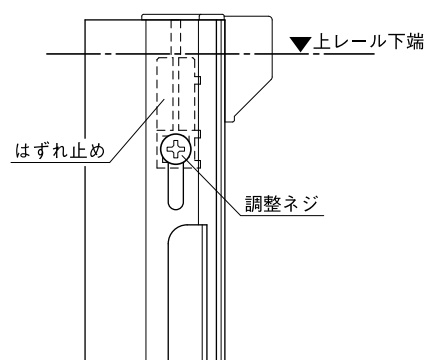
止水ピース
(レールガイド)

止水ピース
(レールガイド)

注意 ●止水ピースの取り付け状態を再確認してください。止水ピースが正しく取り付いていなかったり、変形していると、障子の開閉に支障をきたすおそれがあります。

クレセント・クレセント受けの調整

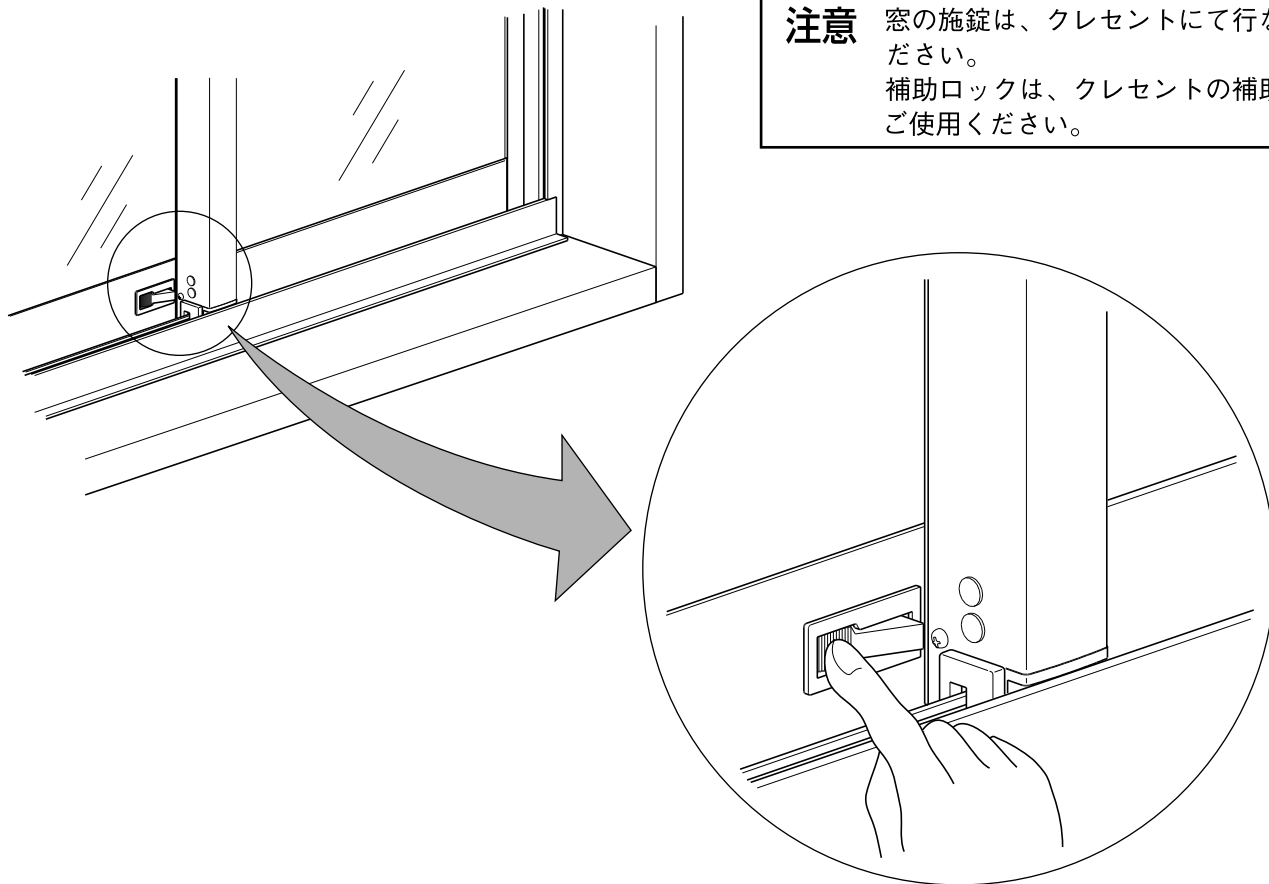
①クレセントおよびクレセント受けを取り付けているネジをゆるめ、調整してください。
（クレセントはネジ部のカバーを開いてください。）

②調整後、ネジを締めて固定してください。

はずれ止めのセット

①はずれ止めセット前に、下図のように内外障子を移動してください。
②召合せ框(外)上部にあるはずれ止め調整ネジをゆるめてください。
③調整ネジごとはずれ止めを押し上げてください。(開閉に支障のない位置まで)
④押し上げた状態で再び、ネジを締めて固定してください。

注意 落下防止のため、はずれ止め部品は必ずかけてください。

補助ロック

補助ロックの下図部分を押すとロック機構が起きあがります。
ロックを解除するときは、起き上がっている部分を押してください。

注意 窓の施錠は、クレセントにて行なってください。
補助ロックは、クレセントの補助としてご使用ください。

使用上の注意事項

- ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり触ったりしますと変形・変色することがありますので、熱に対しては充分注意してください。
- 構成部材は一般的な使用に対しては充分耐えますが、金槌で強く叩いたりナイフで削ったりしますと傷がつきますので注意してください。
- 汚れを取る場合には、中性洗剤かエチルアルコールで濡らした柔らかい布かスポンジを使用してください。
  その後は充分に水拭きをし、乾いた布で確実に拭き取ってください。中性洗剤で落ちない樹脂面に付着した汚れは、クレンザー（ライオン製）などで表面を磨いた後、水洗いしてください。

  ※スチールタワシなどの固いものは使用しないでください。
  ※シンナー・ベンジン・アセトン等、有機溶剤の使用は絶対に避けてください。表面が侵される恐れがあります。
  ※キッチンハイター、カビキラー等の漂白剤は使用しないでください。
  ※表面に洗浄剤・毛染め等の化学薬品がついたまま放置しますと変色する場合がありますので、必ず拭き取ってください。